

5. 景観形成の基準

「景観まちづくり推進区域」及び「景観誘導区域」において、景観形成の目標と方針に基づき、以下の項目に関して景観形成の基準を設けています。



■基準の見方



5. 景観形成の基準

(1) みどり

国立公園内にある定山溪の豊かな自然を温泉街でも感じられるよう、積極的にみどりの保全と創出を図ることで、自然環境と調和のとれた景観形成を目指します。

項目等	基準	基準が適用される区域
<p>建築物の外構</p>	<p>○建築物の外構部分は積極的に緑化する。</p> <p>【解説】定山溪の豊かな自然を地区内で共有するため、建築物の外構部分を積極的に緑化しましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>建築物の外構部分を積極的に緑化している例</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>○温泉街の街並みのイメージを損なわないよう、敷地内の植栽などは適切な維持管理に努める。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>植栽だけでなく維持管理がされている花壇の例</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>春先には花の植え替えなどをすると景観が美しく保たれる</p> </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; background-color: #e6f2ff; padding: 5px;">景観まちづくり推進区域</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; background-color: #ffe6e6; padding: 5px;">景観誘導区域</div> </div>

道路沿い

○道路に接する敷地部分は、周囲の花やみどりとの連続性を意識し、効果的な植栽を行う。

【解説】道路沿いの花やみどりがつながることで、街並みの一体感が生まれるとともに、建築物の人工的な印象を和らげる効果が期待できます。

特に、人通りの多い道路沿いでは、周囲の植樹帯や隣地に植えられている花や樹木等を意識して同種のものを選定するなど、効果的な植栽を行いましょう。

また、植木鉢などを設置する場合、その色彩や素材は、温泉街のイメージを損なわないよう、周囲の街並みとの調和に配慮したものとしましょう。

周囲のみどりとの連続性を確保

効果的な花やみどりによる演出



※道路から見える建築物は、人工的な印象を和らげて自然と調和させるため、道路沿いの壁面の前面を積極的に植栽し修景する。

○指定路線に接する敷地部分に植栽する際は、定山溪の在来種※を積極的に採り入れる。

【解説】定山溪本来の豊かな自然の特長をより身近に感じてもらえるよう、指定路線沿いに植栽する際は、定山溪の在来種（ヤマモミジ、ハウチワカエデ、アカエゾマツ、ムラサキヤシオ、ヤマツツジ、エゾヤマザクラなど）をできる限り選定しましょう。



ヤマモミジ



ハウチワカエデ



ヤマツツジ



ムラサキヤシオ

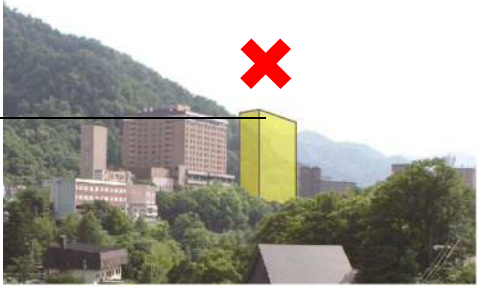
※在来種：昔からその土地に自生する種。

<p>建築物の 出入口周辺 など</p>	<p>○建築物の主要な出入口周辺などは、積極的に花やみどりによる演出を行う。</p> <p>【解説】多くの人々が集まったり、人目につきやすい場所は、地区のイメージを印象付ける上で重要となります。そのため、樹木を植えることや植木鉢などを設置することなどによる演出は、おもてなしや歓迎の雰囲気を醸成することにつながります。また、特にホテルや店舗などでは、そぞろ歩きを楽しむ人々を引き込む効果も期待できます。主要な出入口周辺などを花やみどりにより演出することで、温泉街の街並みの魅力を向上させましょう。</p> <p>また、建築物の出入口へのアプローチなどに植栽を行う際は、定山溪の四季折々の表情を感じられるよう、季節に応じた花や紅葉する樹種などを選定し、季節感を演出しましょう。</p>  <p>建築物の出入口へのアプローチを緑化などで演出している例</p>
<p>溪谷沿い</p>	<p>○溪谷に面した敷地では、周囲のみどりの連続性を意識して緑化及び既存のみどりの保全を行うとともに、対岸や眺望点からの見え方に配慮し、溪谷を魅力的に演出するような工夫を行う。</p> <p>【解説】溪谷沿いに宿泊施設等が立地する中で豊かなみどりが連続していることがこの地区の景観を特徴付けています。このみどりの連続性を保ちつつ、対岸や橋からの眺望を意識し、四季を感じる樹種を選定したり、建築物との調和に配慮した植栽計画とするなど、魅力的な演出を行いましょ。</p>  <p>溪谷沿いに植栽するなど周囲のみどりの連続性を意識</p>

5. 景観形成の基準

(2) 建築物・工作物

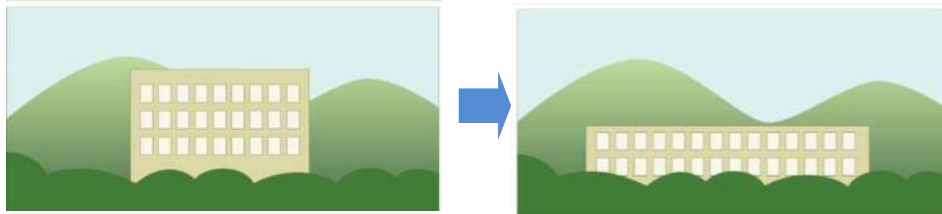
建築物や工作物は、豊平川の溪谷や後背の山並みなどを意識し、色彩や材質などに配慮するとともに、沿道部分のしつらえを工夫することで、誰もが歩きたくなくなる温泉街らしい賑わいとおもてなしの心が感じられる景観形成を目指します。

項目等	基準	基準が適用される区域
色彩・形態	<p>○周囲の街並みや背景となる自然と調和するよう、色彩や形態に配慮する。</p> <p>【解説】自然豊かな温泉街としての印象を損なわないよう、建築物や工作物の新築等を行う際は、周囲との調和に配慮し、華やかな色彩や突出した形態のものは避けましょう。</p> <div style="text-align: center;">  <p>華やかな色彩のものは避ける</p> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; background-color: #a0c4ff; padding: 5px;">景観まちづくり推進区域</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; background-color: #ffcc99; padding: 5px;">景観誘導区域</div> </div>
美観の維持	<p>○温泉街の街並みのイメージを損なわないよう、建築物・工作物の周辺を清掃するなど、美観の維持・管理に努める。</p>	

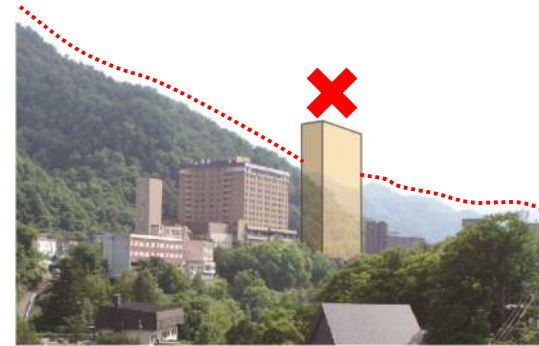
形態

○眺望点からの眺めを意識し、後背の山並みやみどりの連続性に配慮した高さや形態とする。

【解説】眺望点から見える山並みの稜線や、街並みの中にあるみどりと背景となる山のみどりの連続性が保たれることは、豊かな自然にとけ込む温泉街の景観を形成する上で重要です。建築物や工作物の新築等を行う際は、山並みの稜線やみどりの連続性を分断しない高さや規模としたり、これによりがたい場合は、建築物の立面を分節化するなど、眺望点からの眺めを意識した計画としましょう。



周囲の山並みやみどりの連続性を遮らない建物の高さや配置とした例



突出した形態のものは避ける

色彩

○建築物・工作物の色彩は、周囲の街並みや背景となる自然に調和したものとなるよう地域のカラーから選定する。また、部分的にアクセントカラーを用いる場合も地域のカラーから選定することとし、これによりがたい場合は彩度の低い色を選定する。(ただし、定山溪地区で多くの人々が地域の象徴だと感じている建築物や工作物の色彩については、この限りではない。)

【解説】自然豊かな定山溪の温泉街の成り立ちを尊重し、これまで形成してきた街並みと調和するよう、基調となる色彩は地域のカラー（P22 参照）から選定しましょう。

また、アクセントカラーを用いる場合でも原則として地域のカラーから選定し、それによりがたい場合は、温泉街としての落ち着いた印象を損なわないよう、札幌の景観色 70 色（P22 参照）を用いるなど、鮮やか過ぎる色彩は選定しないようにしましょう。



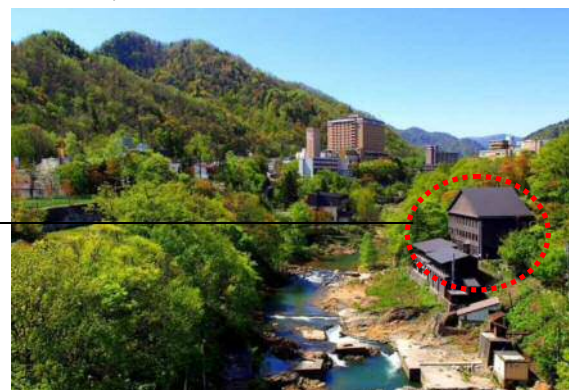
地域のカラーを採用した街並み



地域の多くの人々が象徴だと感じている岩戸観音堂の朱色

○眺望点から望むことができる溪谷沿いの建築物の屋根は、自然に馴染む色彩とする。

【解説】溪谷沿いに建つ建築物の屋根の色彩は、眺望点からの眺めに大きな影響を与えます。眺望点から望むことができる屋根の色彩は、自然との調和に配慮し、自然公園法に基づく「支笏洞爺国立公園管理計画書」に記載のある焦げ茶色や赤褐色などに準じた、地域のカラー（生チョコ、団栗、蝦夷鹿、墨烏等）を使用しましょう。



自然に馴染む色彩としている屋根の例

<p>低層部のしつらえ</p>	<p>滞留空間</p>	<p>○指定路線沿いに立地する建築物の1階部分は、低層部のにぎわいの連続性を意識して、歩行者を引き込むような滞留空間を設ける。これによりがたい場合は、開放的なデザインとする。</p> <p>【解説】温泉街の通り沿いに人々が集い、交流し、くつろげる空間を創出することは、にぎわいある景観の形成につながります。にぎわいある温泉街の雰囲気を演出するため、宿泊施設や店舗など多くの人が集まる建築物の一階部分には、カフェスペースを設けたりベンチを設置するなど、歩行者を引き込むような滞留空間を設けましょう。</p> <p>また、これによりがたい場合は、ガラス面を多く設け室内の様子がうかがえるよう工夫するなど、開放的なデザインとしましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="853 395 1339 762"> <p>ベンチを設置するなど歩行者を引き込むような滞留空間を設けている例</p> </div> <div data-bbox="1355 406 1841 762"> <p>ガラス面を多く設け中の様子がうかがえる開放的なデザインとしている例</p> </div> </div>
<p>材質</p>	<p>材質</p>	<p>○指定路線沿いの建築物の低層部の外観には、できるだけ自然素材を使用する。</p> <p>【解説】多くの人が行き交う指定路線沿いの建築物は、歩行者の視線を意識した質の高い沿道空間を創出するため、自然との調和や温泉街らしい落ち着いた和の雰囲気の演出などに配慮し、低層部の外装材として木や石などの自然素材を用いましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="824 1337 1256 1390"> <p>建築物の低層部に石や木などの自然素材を使用している例</p> </div> <div data-bbox="1355 986 1841 1321"> </div> </div>

<p>低層部のしつらえ</p>	<p>装飾等</p>	<p>○指定路線沿いの建築物に使用する装飾等は、街並みとして統一感のあるものとする。</p> <p>【解説】のれんや行灯といった装飾等の色彩や素材等を統一することは、街並みの一体感を演出する上で効果的です。指定路線沿いの建築物で使用する装飾等は、温泉街としての定山溪地区の魅力を創出するよう統一感のあるものとしましょう。</p> <p>また、季節ごとのイベントや行事などを行う際も、その季節に合った装飾等を使用した飾り付けを行い、街並みの一体感を演出しましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">定山溪地区の個性を創出するようなサインやのれんの例</p>
-----------------	------------	---

付帯設備
など

○建築物の付帯設備は、道路から見えにくい位置に設置するか、植栽や柵などで目隠しするなど目立たないよう工夫する。



建築物の付帯設備を柵で目隠ししている例

○眺望点から見える建築物に付帯する物置や温泉ポンプ施設などは、眺望の眺めに配慮し、見えにくい位置に設置するか、外壁や屋根を自然に馴染む色彩や材質とするなど目立たないよう工夫する。

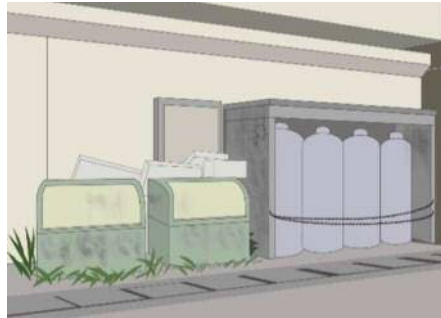


温泉ポンプ施設等は見えにくい位置に配置

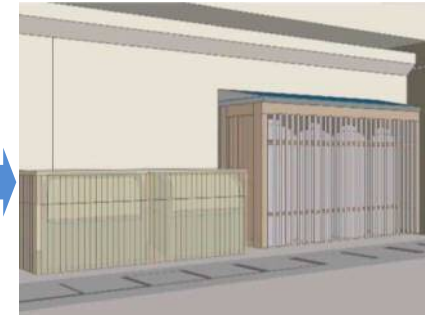
物置等は外壁や屋根を自然に馴染む色彩として目立たないよう工夫

○指定路線沿いの建築物のバックヤード（荷さばき場など）は、容易に望めない場所に配置するか、植栽や柵などで修景する。

【解説】空調の室外機や電気設備等の付帯設備、物置や温泉ポンプ施設等の小規模な建築物、宿泊施設や店舗等のバックヤードなどは、温泉街のイメージを損なわないよう、道路や眺望点からの見え方を意識し、目立たないようにその配置や色彩、材質などに配慮するか、街並みと調和した植栽や塀、柵などで修景しましょう。



※バックヤードに設置された建築物の付帯設備等は、設置場所や方法によっては景観に乱雑な印象を与えます。

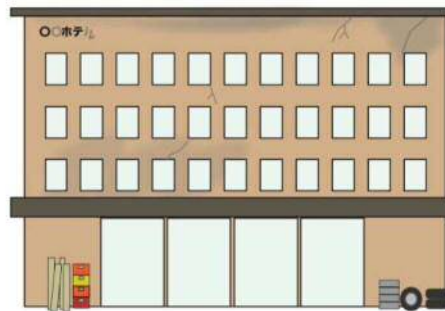


※バックヤードに設置する柵は自然素材が望ましいですが、難しい場合は、茶系の色彩を選定するなど周囲の景観に馴染むような色彩を使用しましょう。

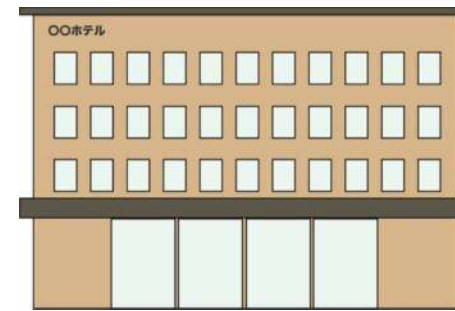
維持・管理

○温泉街としてふさわしい街並みが保たれるよう、建築物や工作物の外観の維持管理に努める。

【解説】日常的に温泉街としての景観の質が保たれるよう、外壁材等に耐久性や耐候性のある材料を使用したり、長期的な視点に立って建築物・工作物の修繕計画を策定するなど、将来に渡って維持・管理をできるように工夫しましょう。また、建築物や工作物の外観の老朽化や破損、汚れなどが生じた場合は、適時適切に修繕や清掃などを行い、美観の維持に努めましょう。



外観の修繕や清掃などを行っていない建築物



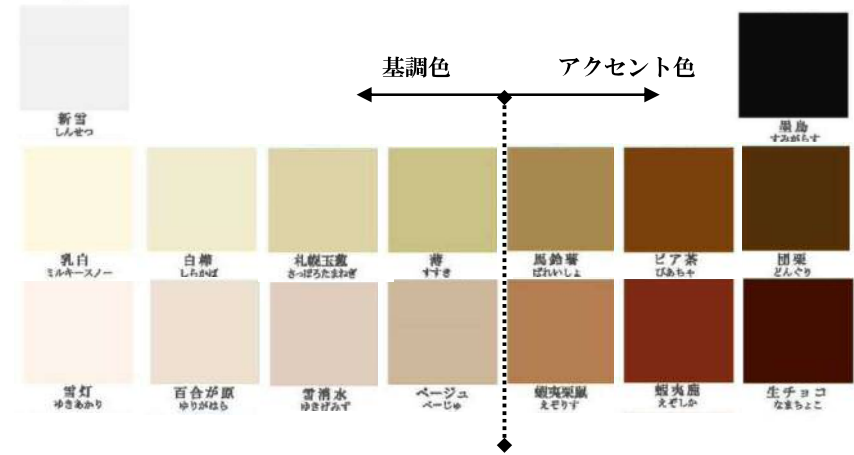
外観の修繕や清掃などを行っている建築物

地域のカラー（定山溪地区）

札幌の景観色 70 色をベースとし、この地域で現状多く使用されている色を地域のカラーとして整理しました。

平成 27 年度に実施した国道 230 号と中央線沿いに面した建築物の基調色とアクセント色をマンセル表色系によって調査した結果、以下の様になりました。この結果より、札幌の景観色 70 色の中から現在の定山溪地区で建築物外壁の基調色において多く見られる色相で絞ったものを右に示します。

※マンセル表色系 色の表し方の一つで、日本工業規格（JIS）にも採用されている色彩の基準のこと。一つの色を 3 属性（色相、明度、彩度）の組み合わせによって表現する。



【建築物外壁の基調色】

多く見られた色相：N（無彩色）、YR（黄赤）、Y（黄）

多く見られた明度・彩度：どの色相も高明度・低彩度

【建築物外壁のアクセント色】

多く見られた色相：N（無彩色）、R（赤）、YR（黄赤）

多く見られた明度・彩度：N は高明度、R 及び YR は中明度、どの色相も低彩度

札幌の景観色 70 色

市民のみなさんの意見や、調査・研究により、誰もが綺麗であると思える色彩を、70 色選んでいます。それぞれの色に風土イメージを連想しやすいように、札幌らしいオリジナルの色名をつけていますが、これは市民のみなさんの心に働きかけ心に留めておけるように名づけたものです。色から言葉へ、言葉から色へ。色から連想するイメージをひろげ、さらに色名から配色をイメージしてください。

俗に言う「向こう三軒両隣」は景観における意識の持ち方について重要なキーワードです。初めに計画建物の両隣を意識し、次に向かい側の建物も同時に眺め、さらに周辺へ目を配り、全体の調和がとれるように考えます。

（上段）マンセル値とは：色を表す 3 属性（色相、明度、彩度）を数値化して色を表現したもの

（下段）トーンとは：明暗、濃淡、派手地味など明度と彩度から生まれる色の調子


※この資料は、印刷のため実際のマンセル値とは異なります。正確には、塗装色見本を参考にしてください。

10RP 9.0/0.8 Vp-1 tone 薄桜 (うすざくら)	2.5YR 3.0/0.5 Vp-1 tone 薄桜 (ゆきあかり)	10YR 9.0/0.5 Vp-1 tone 乳白 (ミルクスノー)	5GY 9.0/0.5 Vp-1 tone 薄桜 (すずらん)	10G 9.0/0.8 Vp-1 tone 薄桜 (オアシス)	5B 8.5/1.0 Vp-1 tone 水口 (アイスクリン)	7.5PB 9.0/2.0 Vp-2 tone 水口 (つらら)	2.5P 9.0/2.0 Vp-2 tone 薄桜 (むすび)	10B 9.0/1.5 Vp-1 tone 薄桜 (カスガノイ)	N9 新雪 (しんせつ)
5RP 8.5/0.5 Vp-1 tone 薄桜 (わたげ)	5YR 8.5/0.5 Vp-1 tone 百合が原 (ゆりがはら)	7.5Y 8.5/1.0 Vp-1 tone 白柳 (しろかば)	5GY 8.5/1.5 Vp-1 tone 薄桜 (ふきのとう)	7.5G 8.0/2.0 Vp-1 tone 水戸 (みずみ)	5B 8.0/2.0 Vp-1 tone 薄桜 (ゆきまつ)	5PB 8.5/2.0 Vp-1 tone 薄桜 (ゆきむし)	5RP 8.0/1.5 Vp-1 tone 薄桜 (ゆきあかり)	10B 8.0/1.5 Vp-1 tone 薄桜 (とうはく)	PB N8.5 薄桜 (むひょう)
10R 8.0/1.0 Lgr-1 tone 薄桜 (しらちや)	7.5R 7.5/1.0 Lgr-1 tone 薄桜 (ゆきあかり)	5Y 8.0/2.0 Lgr-1 tone 薄桜 (しらちや)	5GY 8.0/2.0 Lgr-1 tone 薄桜 (ゆきあかり)	5G 7.0/2.0 Lgr-2 tone 薄桜 (ゆきあかり)	5B 7.0/2.0 Lgr-2 tone 薄桜 (ゆきあかり)	5PB 7.0/2.0 Lgr-2 tone 薄桜 (ゆきあかり)	5RP 7.0/2.0 Lgr-2 tone 薄桜 (ゆきあかり)	2.5B 7.0/2.0 Lgr-2 tone 薄桜 (ゆきあかり)	PB N7.5 薄桜 (むひょう)
10R 7.0/1.5 Lgr-2 tone 薄桜 (ゆきあかり)	1Y 7.0/1.5 Lgr-2 tone 薄桜 (ゆきあかり)	7.5Y 7.5/3.0 Lgr-1 tone 薄桜 (ゆきあかり)	5GY 6.5/2.0 Lgr-2 tone 薄桜 (ゆきあかり)	2.5G 6.2/4.0 L-2 tone 薄桜 (ゆきあかり)	5B 6.0/4.0 L-2 tone 薄桜 (ゆきあかり)	5PB 6.0/5.0 L-3 tone 薄桜 (ゆきあかり)	5RP 6.0/2.0 Gr-1 tone 薄桜 (ゆきあかり)	5B 6.0/1.5 Lgr-1 tone 薄桜 (ゆきあかり)	PB N6.5 薄桜 (むひょう)
10R 5.7/4.0 L-2 tone 薄桜 (ゆきあかり)	5YR 5.7/4.0 L-2 tone 薄桜 (ゆきあかり)	2.5Y 5.7/4.0 L-2 tone 薄桜 (ゆきあかり)	7.5GY 5.7/4.0 L-2 tone 薄桜 (ゆきあかり)	10GY 5.0/4.5 Dl-1 tone 薄桜 (ゆきあかり)	5B 4.3/4.0 Dl-2 tone 薄桜 (ゆきあかり)	5PB 5.5/3.0 L-2 tone 薄桜 (ゆきあかり)	7.5RP 4.5/2.0 Gr-2 tone 薄桜 (ゆきあかり)	5B 5.0/1.5 Gr-1 tone 薄桜 (ゆきあかり)	PB N5.0 薄桜 (むひょう)
7.5R 3.0/8.0 Dk-1 tone 薄桜 (ゆきあかり)	5R 4.0/6.0 Dl-4 tone 薄桜 (ゆきあかり)	7.5R 4.0/6.0 Dl-4 tone 薄桜 (ゆきあかり)	5GY 4.0/6.0 Dl-4 tone 薄桜 (ゆきあかり)	10GY 4.0/4.0 Dl-2 tone 薄桜 (ゆきあかり)	7.5G 4.0/4.0 Dl-2 tone 薄桜 (ゆきあかり)	5PB 4.0/3.5 Dl-2 tone 薄桜 (ゆきあかり)	7.5RP 2.3/4.0 Dk-1 tone 薄桜 (ゆきあかり)	10B 4.0/1.5 Gr-2 tone 薄桜 (ゆきあかり)	PB N3.5 薄桜 (むひょう)
7.5R 2.3/6.0 Dk-1 tone 薄桜 (ゆきあかり)	2.5YR 2.3/4.0 Dk-1 tone 薄桜 (ゆきあかり)	10YR 3.3/4.0 Dk-1 tone 薄桜 (ゆきあかり)	5GY 3.3/4.0 Dk-1 tone 薄桜 (ゆきあかり)	2.5G 2.3/4.0 Dk-1 tone 薄桜 (ゆきあかり)	2.5B 2.3/4.0 Dk-1 tone 薄桜 (ゆきあかり)	5PB 2.3/2.5 Dgr. Tone 薄桜 (ゆきあかり)	5RP 2.3/2.5 Dgr. Tone 薄桜 (ゆきあかり)	5B 2.0/1.5 Dgr. Tone 薄桜 (ゆきあかり)	N 5 薄桜 (ゆきあかり)

5. 景観形成の基準

(3) 駐車場

地区内の大規模な駐車場は、自然豊かな温泉街のイメージが損なわれないよう、背景となる自然や街並みとの調和を図ることで、街並みの連続性に配慮した景観形成を目指します。

項目等		基準	基準が適用される区域
美観の維持		○温泉街の街並みのイメージを損なわないよう、駐車場内を清掃するなど美観の維持に努める。	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="background-color: #a0c4ff; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl; margin-bottom: 10px;">景観まちづくり推進区域</div> <div style="background-color: #ffe4c4; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">景観誘導区域</div> </div>
塀や柵	<p>材質・色彩</p> <p>○駐車場の道路に面する部分は、植栽や、素材・色彩に配慮した塀や柵の設置を行うなど、周囲の街並みと調和するよう工夫する。</p> <p>【解説】屋外の平面駐車場は、温泉街としての景観を分断し、殺風景な印象を与える可能性があります。このため、特に大規模な平面駐車場は、防犯面に配慮しつつ、駐車車両や設備が丸見えにならないよう、周囲の街並みに配慮し、目隠しとして生垣や植込などを配置したり、木や石などの自然素材あるいは落ち着いた色彩の塀・柵などを設置しましょう。</p> <p style="text-align: center;">木柵等によって周囲の街並みと調和するよう工夫されている例</p> <div style="text-align: right;">  <p>※駐車場に設置する柵は自然素材が望ましいですが、難しい場合は、茶系の色彩を選定するなど周囲の景観に馴染むような色彩を使用しましょう。</p> </div>		

<p>緑化</p>	<p>○みどり豊かな定山溪の印象を損なわないよう、駐車場内は適宜緑化する。</p> <p>【解説】駐車場の殺風景なイメージを緩和するため、道路に面する部分はもとより、駐車場内も適宜緑化しましょう。</p> <p style="text-align: center;">駐車場内のスペースを一部緑化している例</p> 
<p>建築物に付随する立体駐車場*</p> <p>※立体駐車場については、この基準のほか、建築物・工作物として該当する他の基準にも適合させる必要があります。</p>	<p>○建築物に付随する立体駐車場は、主となる建築物との調和に配慮した仕上げとするか、植栽等により修景する。</p> <p>【解説】宿泊施設等に併設される立体駐車場は、無機質な印象を与えないよう、外観の仕上げを宿泊施設等と同色・同素材とするなど、主となる建築物と一体的に見えるよう工夫しましょう。これによりがたい場合は、歩行者への視線に配慮し、道路沿いの敷地際に生垣や植込などを配置したり、木や石などの自然素材あるいは落ち着いた色彩の塀・柵など緩衝帯となるものを設置しましょう。</p> <p style="text-align: center;">立体駐車場を植栽により修景している例</p> 

5. 景観形成の基準

(4) 夜間景観

温泉街の様々なあかりの演出に配慮することで、夜間の温泉街の魅力を創出し、ぬくもりが感じられる景観形成を目指します。

項目等	基準
屋外照明の色温度	<p>○屋外に照明を設置する場合は、できるだけ色温度の低いあかりを使用する。</p> <p>【解説】温泉街の風情を演出するため、外構等に屋外照明を設置する際は、ぬくもりが感じられるよう、できるだけ暖かみのあるものを使用しましょう。また、人が多く歩く時間帯は可能な限り点灯するよう心がけましょう。</p> <p>また、街路灯についても、街全体の統一感を図るため、できる限り暖かみのあるあかりのものを使用しましょう。</p> 
屋外照明	<p>○指定路線沿いの屋外照明は、あかりの連続性や歩行空間の魅力的な演出に配慮した照明計画とする。</p> <p>【解説】夜のそぞろ歩きを楽しむ環境が整うことで、温泉街としての魅力も高まります。指定路線沿いの建築物や工作物に付随する屋外照明を設置する際は、歩行者が安心して歩けるよう周囲の照明との連続性に配慮し、歩行空間を照らすように配置しましょう。</p> <p>また、周囲の街並みとの調和や歩行者の安全に配慮した上で、道路沿いの建築物の顔となる部分をライトアップにより演出し、魅力的な夜間景観を創出しましょう。</p>  <p>歩行空間を魅力的に演出する 屋外照明の設置</p>

基準が適用される区域

景観まちづくり推進区域

景観誘導区域

<p>建築物からの漏れるあかり</p>	<p>○指定路線沿いや溪谷沿いの建築物は、窓から漏れるあかりを意識し、できる限り色温度の低い照明を使用する。</p> <p>【解説】建築物の窓から漏れるあかりは、ぬくもりが感じられる夜間景観を演出する上で重要な要素です。指定路線や眺望点からの見え方に配慮し、建築物の窓から漏れるあかりはできるだけ暖かみのあるものを使用しましょう。</p> <p>色温度が低い照明が窓から漏れることによってぬくもりが感じられる夜間景観を演出</p> 
<p>動光等を伴う照明</p>	<p>○激しい動光等を伴う照明は使用しないようにする（但し短期間のイベント等に使用する場合は除く）。</p> <p>【解説】温泉街としての落ち着いた雰囲気を損なわないように、短期間のイベント（クリスマス期間等）や地域住民や事業者等が主体で行う定山溪の観光振興に資するイベントなどを除き、ネオン等の激しい動光を伴う照明は使用しないようにしましょう。</p>

ライト
アップ

○眺望点から望むことができる溪谷沿いの建築物などは、溪谷へのライトアップなどで美しい夜景づくりを心がける。

【解説】夜間も美しい溪谷の景観が際立つよう、眺望点や指定路線沿いからの眺めに配慮し、河川や溪谷沿いの建築物、橋、みどり等をライトアップするなど、美しい夜景づくりを心がけましょう。また、その際には昼間の溪谷への眺めを阻害しないよう、照明器具は目立たない色彩・位置とするなど自然環境に配慮した上で修景を心がけましょう。











宿泊施設側からの溪谷へのライトアップの例

5. 景観形成の基準

(5) 広告物等

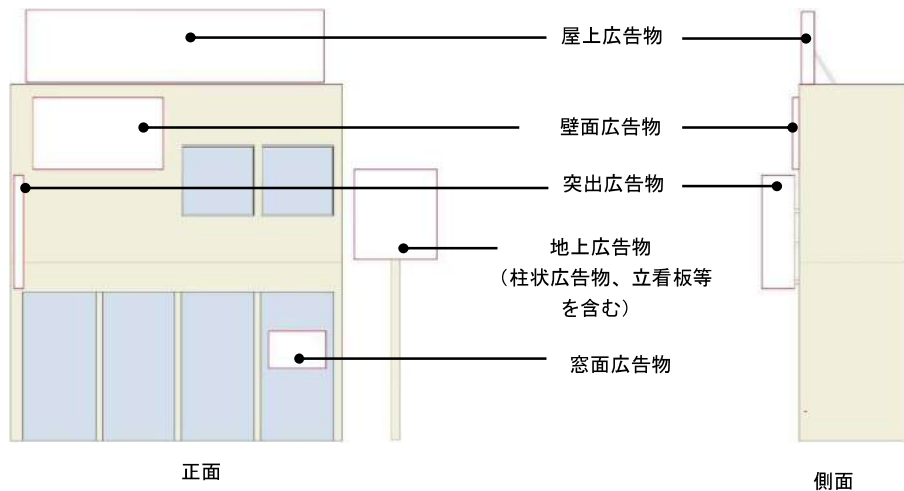
広告物等は、背景となる自然や街並みとの調和に配慮しつつ、温泉街の魅力を引き立てるデザインとすることで一体感を演出し、地区の魅力を高める景観形成を目指します。

※**広告物等**：広告物（常時又は一定の期間、屋外で継続して公衆に表示された、はり紙・はり札・立て看板・広告塔のほか、建築物の壁面等に掲出されているもの）と、案内サイン（特定の事務所、店舗等や、特定の場所への案内又は誘導を目的とする広告物。公共機関が掲出するものも含む）を総称したものです。

項目等	基準	基準が適用される区域
デザイン	<p>○広告物等を掲出する際は、温泉街のイメージを損なわないデザインとする。</p> <p>【解説】 広告物等の掲出にあたっては、定山溪の豊かな自然と調和するよう、構造体（広告物等の支柱等）を落ち着いた色彩に着色するなどの見え方にも配慮しつつ、多色や極端に華やかな色彩は避け、すっきりとした印象のものとしましょう。</p> <p>●広告物の参考例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色彩の彩度に注意しましょう。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>高彩度色や原色、発色が良い色彩の使用は控えましょう。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ベースとなる「地」には落ち着いた色彩を使用しましょう。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「地」を無彩色にして文字に原色を使用するなどの工夫をしましょう。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>コーポレートカラーなどで鮮やかな色彩は彩度を落として面積を工夫するなど配慮しましょう。</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・色数に注意しましょう。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>広告物は多色にならないように配慮しましょう。</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>「地」は落ち着いた色彩を用いて文字やポイントにアクセントカラーを取り入れるなど工夫をしましょう。</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  <p>自然と調和するよう配慮された色彩の例</p> </div>	<p>景観まちづくり推進区域</p> <p style="background-color: #ffe0c0; padding: 5px;">景観誘導区域</p>

<p>共通</p>	<p>○広告物等を掲出する際は、多色や華美な色彩を使用しないようにする。</p> <p>○複数の設置が想定される場合は、できるだけ集約化を図り、必要最低限の設置数とする。</p> <p>○周囲の自然や温泉街の街並みと調和したデザインとする。</p> <p>○建築物に付随する広告物等は、建築物の外観と調和するよう、形態や色彩に配慮する。</p> <p>○発光を伴うものは、点滅するなどの動光の変化をしないものとする。</p>
<p>屋上広告物</p>	<p>○屋上広告物は、溪谷や背景となる山並みへの眺望に配慮し、できるだけ設置しないようにする。</p>
<p>窓面広告物</p>	<p>○窓等のガラス面には、広告物を掲出しないようにする。これによりがたい場合は、街並みとの調和に配慮する。</p>
<p>案内サイン</p>	<p>○案内サインは、視認性に配慮した配色や形態とする。</p> <p>※サイン計画を作成した場合は、当該計画の基準を準用する旨を追記する予定です。</p>

広告物等のイメージ



案内サインの例



6. 届出の手続き

(1) 届出対象行為

「景観まちづくり推進区域」については、景観計画区域における届出対象行為*に加え、下記の行為に該当する場合にも札幌市に届出（国又は地方公共団体が行う行為は通知）が必要となります。

（届出対象行為を行う敷地の一部が「景観まちづくり推進区域」もしくは「景観誘導区域」の範囲にかかっている場合についても、届出の対象となります。）

*景観計画区域における届出対象行為：延べ面積が、10,000㎡を超える建築物または、高さ31mを超える建築物を建築する場合等。詳細は、札幌市景観計画または景観計画区域のパンフレットをご覧ください。

景観まちづくり推進区域において追加される届出対象行為

【建築物等】に関する行為

・宿泊施設等*の新築、増築、改築、移転、外観の変更をすることとなる大規模な修繕若しくは模様替え又は外観の過半にわたる色彩の変更（ただし、増築にあっては、増築部分が10㎡以下のものは除く。）（景観計画区域における届出対象行為は除く）

*宿泊施設は、旅館業法による対象施設のうち、「ホテル」と「旅館」として定義する。

景観まちづくり推進区域のうち景観誘導区域において追加される届出対象行為

【建築物等】に関する行為

・高さ10mを超える建築物等の新築、増築、改築、移転、外観の変更をすることとなる大規模な修繕若しくは模様替え又は外観の過半にわたる色彩の変更（ただし、増築にあっては、増築部分のみが届出対象に該当しないものは届出不要。なお、当該増築の前は届出対象に該当せず、当該増築をもって届出対象となるものは届出が必要）（景観計画区域における届出対象行為は除く）

【駐車場】に関する行為

・駐車場の整備（行為に係わる部分の面積が500㎡以下のものは除く）

【広告物】に関する行為

・表示面積が10㎡を超える屋外広告物等の掲出、移転若しくはその内容の変更をしようとする場合（ただし、札幌市屋外広告物条例第3条第1項又は第4条第1項の規定による許可が必要なものに限る。）

※定山溪地区は支笏洞爺国立公園内に位置するため、自然公園法に基づく許可、届出等が必要となる可能性があります。

(2) 届出が除外となる行為

「景観まちづくり推進区域」における(1)の届出対象行為に該当する場合であっても、下記に該当する場合には届出が除外されます。

【非常災害時の応急措置】

- ・非常災害のため必要な応急措置として行う行為

【その他】

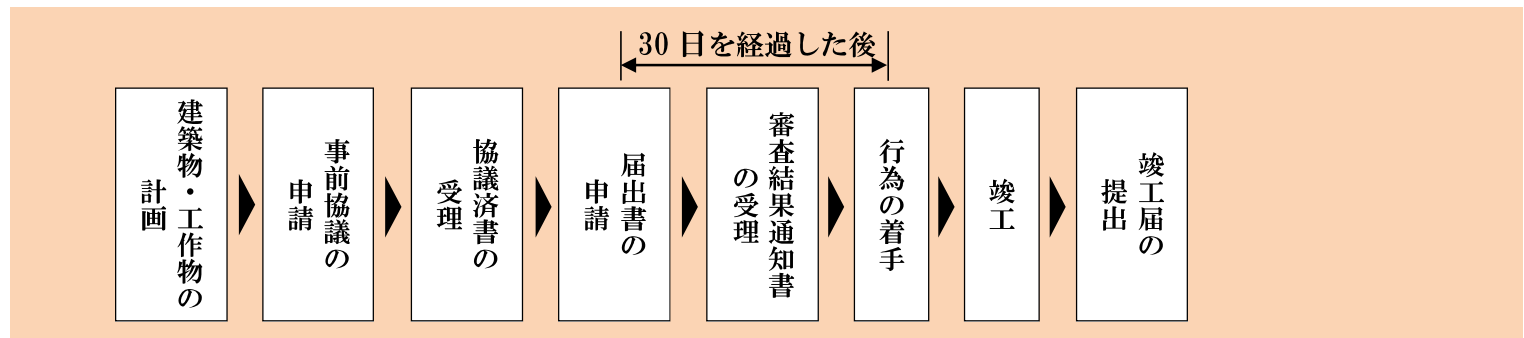
- ・その他景観の形成に影響を及ぼさないと市長が認める行為

(3) 公共事業

- ・札幌市などが行う事業において、法や条例等で届出対象行為とならないものについても、この方針を踏まえるものとします。

(4) 届出の流れ

「届出対象行為」に該当する行為を行おうとする者は、行為の着手30日前までに、届出を行う必要があります。より良い景観形成を図るために、企画構想・基本計画の段階から計画の内容について事前に協議するようお願いします。



(5) 経過措置

本指針で定める景観形成基準は、本指針が策定・告示される日（平成29年度前半頃を予定）から30日を経過した時点において、すでに着手している(1)の届出対象行為については適用を除外します。

7. みんなで取組む景観まちづくり活動

地域の魅力を向上させていくためには、日々の暮らしや営みの活動の積み重ね、居心地よく感じる環境、行ってみたいと感じさせる雰囲気づくりなどの地域の活動が大切です。

本指針の策定までに実施してきた意見交換会の意見やアンケート結果等に基づき、地域住民等が一体となり主体的に取り組むことで、今よりもさらにまちの魅力向上につながる取組や活動について示します。

① 沿道などの環境美化活動

② 季節に応じた景観づくり

③ 地域内外に地域の魅力をPR

④ おもてなしの心の醸成

⑤ にぎわいづくり

⑥ 意識啓発



地域が取り組む景観まちづくりの例

①沿道などの環境美化活動

- ・ゴミ捨てや雪捨てマナーの啓発
- ・散策路などを中心としたゴミ拾い
- ・草刈りや除雪のボランティア
- ・街路樹などの落葉拾い
- ・美化活動に対する宿泊施設などからのサービス（日帰り入浴券の提供等）等

②季節に応じた景観づくり

- ・「定山溪温泉雪灯路」など季節に応じた取組への市民参加の促進 等

③地域内外に地域の魅力をPR

- ・各宿泊施設や店舗から地域の美しい景観をホームページ等で発信
- ・溪谷への美しい眺めなど定山溪ならではの写真スポットの設定
- ・SNS やパンフレット等で隠れた感動スポットをPR 等

④おもてなしの心の醸成

- ・宿泊施設等の従業員を対象にしたまち歩きやおもてなし研修
- ・ボランティアガイドの育成 等

⑤にぎわいづくり

- ・時間別の散策コースの設定
- ・宿泊施設や店舗で食べ歩きメニューを提供
- ・二見公園など今ある施設を活用したイベントの開催
- ・日帰り客が立ち寄りやすい宿泊施設などの雰囲気づくり 等

⑥意識啓発

- ・景観形成に関する専門家からのアドバイスを得る機会の充実等